

秘

統計法に基づく
一般統計調査

第14回出生動向基本調査

結婚と出産に関する全国調査

〔独身の方への調査票〕

(平成22年(2010年) 6月1日 現在の事実)

対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、最終ページにございます)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

記入上のお願い

- この調査票は **18歳以上 50歳未満の独身の方**に答えていただくためのものです。
- 平成22年(2010年)6月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことごとを書きこむものがあります。
- 回答後の調査票は、**回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。**封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル6階

電話 (03) 3595-2984 内線4472 / 4474
<http://www.ipss.go.jp>

調査員記入欄

都道府県	保健所	地域コード
	

問1 あなたの(1)出生年月を記入し、(2)性別の欄は、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 出生年月	(2) 性別
1. 昭和	1. 男 2. 女
2. 平成 _____年____月	
3. 西暦	

問2 あなたが(1)最後に卒業された(あるいは在学中の)学校と、(2)卒業・在学の別について、あてはまる番号に○をつけてください。また、卒業された方は(3)卒業したときの年齢を()内に記入してください。

(1) 卒業した(または在学中の)学校	(2) 卒業・在学の別
あてはまる番号に○	あてはまる番号に○
1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修学校(高卒後)	1. すでに卒業 → () 歳 2. 現在、在学中(休学等を含む)
5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 具体的に()	

問3 あなたとあなたの(ご両)親のお仕事についておたずねします。あなたについては a、b の2つの時期について、また、(ご両)親については現在について、それぞれ(1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数(ご両親については種別)のあてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況						(2)職種							(3)おつとめ先の従業員数(本社・支社を含む)						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者	5 無職・家事	6 学生	1 主として農林漁業	2 農林漁業以外の自営業	3 専門職	4 管理職	5 事務職	6 販売・サービス職	7 工場などの現場労働	1 5人未満	2 10人未満	3 30人未満	4 100人未満	5 300人未満	6 1000人以上	7 官公庁
		回答欄																			
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後*	1~6のあてはまる番号に○をつける 1~4に○をつけたときは右の欄に進む						(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける							(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける						
	b. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						

※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

【(ご両)親がご健在の方のみ記入】

お父さま	c. 現在	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 大手企業 2 中小企業 2 官公庁
お母さま	d. 現在	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 大手企業 2 中小企業 2 官公庁

● 現在 **お仕事をもちの方** にかがいます。お仕事をもちでない方は次の 問5 へ進んでください。

問4 あなたの現在のお仕事について、次の(1)から(4)までの項目について、数字を記入し、あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

あなたのお仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)																	
(1) 先月(5月)の収入	税込み 約 <input type="text"/> 万円 事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた額を記入してください。次の(2)も同様です。																
(2) 昨年(平成21年)の収入	<table border="0"> <tr> <td>税込み</td> <td>0. 0~99万円</td> <td>4. 400万円台</td> <td>8. 800万円台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 100万円台</td> <td>5. 500万円台</td> <td>9. 900万円台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2. 200万円台</td> <td>6. 600万円台</td> <td>10. 1000万円以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3. 300万円台</td> <td>7. 700万円台</td> <td></td> </tr> </table>	税込み	0. 0~99万円	4. 400万円台	8. 800万円台		1. 100万円台	5. 500万円台	9. 900万円台		2. 200万円台	6. 600万円台	10. 1000万円以上		3. 300万円台	7. 700万円台	
税込み	0. 0~99万円	4. 400万円台	8. 800万円台														
	1. 100万円台	5. 500万円台	9. 900万円台														
	2. 200万円台	6. 600万円台	10. 1000万円以上														
	3. 300万円台	7. 700万円台															
(3) 今後の仕事の継続見通し	<table border="0"> <tr> <td>1. 当分は今の仕事を続ける</td> <td rowspan="4" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 予想される理由 (あてはまる番号に○) 1. 仕事・職場の事情 2. 結婚を機に 3. 出産を機に 4. 親族の介護のため 5. 上記以外の事情 </td> </tr> <tr> <td>2. 転職の可能性あり</td> </tr> <tr> <td>3. 退職の可能性あり</td> </tr> <tr> <td>4. わからない</td> </tr> </table>	1. 当分は今の仕事を続ける	予想される理由 (あてはまる番号に○) 1. 仕事・職場の事情 2. 結婚を機に 3. 出産を機に 4. 親族の介護のため 5. 上記以外の事情	2. 転職の可能性あり	3. 退職の可能性あり	4. わからない											
1. 当分は今の仕事を続ける	予想される理由 (あてはまる番号に○) 1. 仕事・職場の事情 2. 結婚を機に 3. 出産を機に 4. 親族の介護のため 5. 上記以外の事情																
2. 転職の可能性あり																	
3. 退職の可能性あり																	
4. わからない																	
(4) 今後5年間の収入の見通し	<table border="0"> <tr> <td>1. かなり減ると思う</td> <td>4. ある程度増えると思う</td> </tr> <tr> <td>2. ある程度減ると思う</td> <td>5. かなり増えると思う</td> </tr> <tr> <td>3. 変わらないと思う</td> <td></td> </tr> </table> 転職などによる増収や、失業などともなう減収の見通しも含めてください。	1. かなり減ると思う	4. ある程度増えると思う	2. ある程度減ると思う	5. かなり増えると思う	3. 変わらないと思う											
1. かなり減ると思う	4. ある程度増えると思う																
2. ある程度減ると思う	5. かなり増えると思う																
3. 変わらないと思う																	

● **すべての方** に、(ご両) 親やごきょうだいのことにかがいます。

問5 あなたの(ご両) 親の(1)出生年、(2)現在のあなたとの同居/別居、(3)最後に卒業された学校についておたずねします。あてはまる番号に○をつけ、数字を記入してください。

	お父さま	お母さま
(1) 出生年	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年 生まれ (満____歳)	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年 生まれ (満____歳)
(2) 現在のあなたとの同居/別居	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた
(3) 最後に卒業された学校	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学・大学院 6. その他()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学・大学院 6. その他()

※ 旧制の高等小学校、小学校は中学校卒としてください。旧制の高等女学校は高校卒としてください。

※「(1) 出生年」の満年齢の記入はご健在の方のみで結構です。

問6 あなたの兄弟姉妹の数を()内に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

兄 ()人 いない場合は0を記入	姉 ()人 いない場合は0を記入	弟 ()人 いない場合は0を記入	妹 ()人 いない場合は0を記入	あなたを含めて合計 ()人きょうだい
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------------

● このページでは、結婚経験をはじめ個人的なことからについてうかがいます。
 ※ 立ち入った内容も含まれますが、社会関係の時代的な変化をとらえ、施策を考える上で大切な資料となります。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただけますようお願いいたします。

問7 あなたはこれまでに結婚（届け出をしたもの）をしたことがありますか。あてはまる番号に○をつけ、該当する方は最初の結婚について年月を記入してください。

(1) 結婚経験の有無	(2) 最初の結婚生活を始めた年月	(3) 同居をやめたとき、または死別をした年月
1. ない 2. ある（離別した） 3. ある（死別した）	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月

問8 あなたはこれまでに同棲の経験（特定の異性と結婚の届け出なしで一緒に生活したこと）がありますか。あてはまる番号に○をつけ、該当する方は同棲をした（している）時期（年齢）を記入してください。

(1) 同棲の経験	(2) 同棲の時期
1. ない 2. 以前はあるが現在はしていない 3. 現在している	_____ 歳 から _____ 歳 まで

問9 あなたはこれまでに異性と性交渉をもったことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. ある 2. ない

問10 あなた（男性の場合は妻やパートナー）がこれまでに生んだお子さんについて、あてはまる番号に○をつけ、該当するお子さんの出産年月を記入してください。

(1) これまでに生んだお子さんの数	(2) お子さんの出生年月						
0. 子どもはいない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上（ 人）	<table border="1"> <tr> <td>1人め</td> <td>[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産</td> </tr> <tr> <td>2人め</td> <td>[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産</td> </tr> <tr> <td>3人め</td> <td>[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産</td> </tr> </table>	1人め	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産	2人め	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産	3人め	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産
1人め	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産						
2人め	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産						
3人め	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月 出産						

※ 4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。

● **引きつづき、すべての方** にかがいます。

問14 下のワクの中に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ、最も近いと思われるタイプの番号を下のワクから選び、回答欄に記入してください。

- 【女性の方へ】 (1)あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
 (2)理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

女性回答欄	(1) 理想とする人生	(2) 実際になりそうな人生

【男性の方へ】 パートナー(あるいは妻)となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性回答欄	パートナー(あるいは妻)となる女性に望む人生

- | | |
|-----------------|--|
| 上の回答欄に
番号を記入 | 1. 結婚せず、仕事を続ける |
| | 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける |
| | 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける |
| | 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ |
| | 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない |
| | 6. その他 () |

● **すべての方に、結婚、男女関係、家庭、子どもについてのお考え** がかがいます。

問15 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑪のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

※本問では賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。また必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

(左の考え方に)			
1 ま っ た く 賛 成	2 い ど え ち ば ら 賛 成 と	3 い ど え ち ば ら 反 か と	4 ま っ た く 反 対

① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪ 結婚していなくても、子どもを持ってかまわない	1	2	3	4

● 現在 交際相手がいる方（前問で2～4に○をつけた方）にうかがいます。
いない方は次の問20へ進んでください。

問19 （最も親しい）交際相手とは、いつ頃どのようなきっかけで知り合いましたか。(1)知り合った年月を記入し、(2)知り合ったきっかけのあてはまる番号に○をつけてください。また、交際相手の(3)年齢、(4)最後に卒業した（または在学中の）学校、(5)おつとめの状況について、あてはまる番号に○をつけてください。

(1)知り合った年月	(2)知り合ったきっかけ	交 際 相 手 に つ い て		
		(3)年 齢	(4)卒業(在学中)の学校	(5)おつとめの状況
1. 昭和 2. 平成 3. 西暦 ____年____月頃	1. 学校で 2. 職場や仕事の関係で 3. 幼なじみ・隣人関係 4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで 5. 友人や兄弟姉妹を通じて 6. 見合いで（親せき・上役などの紹介も含む） 7. 結婚相談所で 8. 街なかや旅先で 9. アルバイトで 10. その他（ ）	____ 歳	1. 中学校 2. 高 校 3. 専修学校・短大・高専 4. 大学・大学院 5. その他（ ）	1. 正規の職員 2. パート・アルバイト 3. 派遣・嘱託・契約社員 4. 自営業主・家族従業者 5. 無職・家事 6. 学生

● すべての方にうかがいます。

問20 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

- | |
|-----------------|
| 1. いずれ結婚するつもり |
| 2. 一生結婚するつもりはない |

● ここからあとの質問は、問20で1に○をつけた方（「いずれ結婚するつもり」の方）にうかがいます。
2に○をつけた方はここで終わりです。末尾のご意見の欄に進んでください。

問21 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

- | |
|-------------------------------|
| 1. ある程度の年齢までには結婚するつもり |
| 2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない |

問22 それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。

- | |
|------------------------|
| 1. 一年以内に結婚したい |
| 2. 理想的な相手が見つければ結婚してもよい |
| 3. まだ結婚するつもりはない |

問23 あなたは何歳ぐらいのときに何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。希望する年齢を（ ）内に記入してください。

自分（ ）歳ぐらいのときに
相手（ ）歳ぐらいの人と結婚したい

● 引きつづき、「いずれ結婚するつもり」の方 にかがいます。

問24 あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑧の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

① 相手の学歴	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
② 相手の職業	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
③ 相手の収入などの経済力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
④ 相手の人から	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑤ 相手の容姿	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑥ 共通の趣味の有無	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑦ 自分の仕事に対する理解と協力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑧ 家事・育児に対する能力や姿勢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない

問25 現在交際している人と（あるいは理想的な相手が見つかった場合）一年以内に結婚するとしたら、なにか障害になることがあると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。また、1に○をつけた方は右側のワクの中から、具体的な障害を二つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	一年以内に結婚するとしたら	右の回答欄に番号を記入	1. 結婚生活のための住居	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">回答欄 (番号を記入)</th> </tr> <tr> <th>最大の障害</th> <th>第二の障害</th> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>	回答欄 (番号を記入)		最大の障害	第二の障害		
	回答欄 (番号を記入)									
最大の障害	第二の障害									
1. 障害になることがあると思う	2. 障害になることはないと思う	3. 親の承諾	4. 親との同居や扶養							
		5. 学校や学業上の問題	6. 職業や仕事上の問題							
		7. 年齢上のこと	8. 健康上のこと							
		9. その他 ()								

問26 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高三つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください（すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に12を記入してください）。

右の回答欄に番号を記入	1. 結婚するにはまだ若すぎるから	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">回答欄 (番号を記入)</th> </tr> <tr> <th>最大の理由</th> <th>第二の理由</th> <th>第三の理由</th> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>	回答欄 (番号を記入)			最大の理由	第二の理由	第三の理由			
	回答欄 (番号を記入)										
最大の理由	第二の理由	第三の理由									
2. 結婚する必要性をまだ感じないから	3. 今は、仕事（または学業）にうちこみたいから	4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから									
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから	6. 適当な相手にまだめぐり会わないから	7. 異性とうまくつき合えないから									
8. 結婚資金が足りないから	9. 結婚生活のための住居のめどがたたないから	10. 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から									
11. その他 ()	12. すでに結婚が決まっている										

● 以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です（ご意見等が無ければ空欄のままでかまいません）。

皆様が日頃の生活を通じて、導入してほしい、あるいは充実してほしいと感じている施策があれば、下の欄に自由にご記入ください。

そのほか、本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄に自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた調査票は回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡してください。
封筒は国立社会保障・人口問題研究所へ届くまで、途中で開封されることはありません。

※ 貴重なお時間をいただきましたことをこころから感謝申し上げます。本調査の結果は当研究所における統計分析を通して、国民の皆様の生活向上に役立てられることとなります。なお、過去の結果については、下記に掲載しています。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs14/>

§ 調査についてのご説明

◇ 出生動向基本調査とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は14回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を科学的立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行しており、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化が、今後の日本社会に大きな影響を与えるとの指摘がされています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方々を対象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

[結婚されている方への調査票] (黄色の調査票)

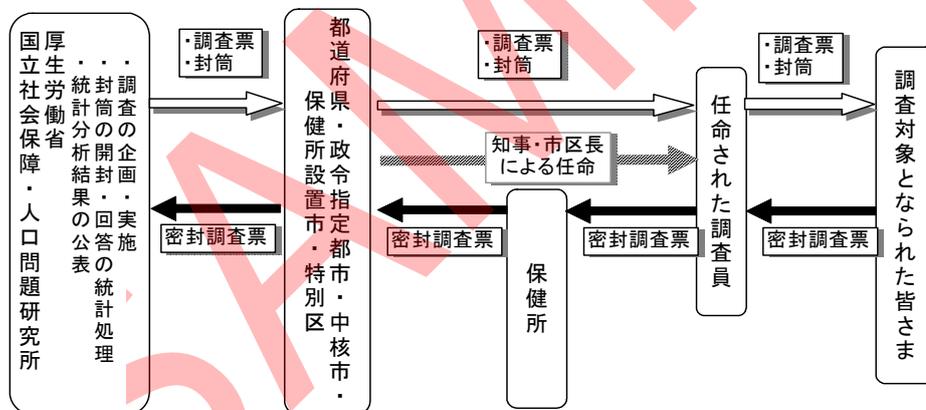
—— 届出の有無を問わず、結婚されている50歳未満の女性の方すべてが対象です。

[独身の方への調査票] (緑色の調査票)

—— 18歳以上50歳未満の独身の方(男性および女性)すべてが対象です。

◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所(厚生労働省の施設等機関)が、統計法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県(または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区)、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事(市長・区長)から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票の配布、および回答いただいた調査票(封筒に入れて密封したもの)を回収する方法で行います。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報がもれることは絶対にありません。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。また、本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせなどについては、インターネット上に出生動向基本調査のホームページを開設して紹介しています。そちらをご参照ください。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス(対象者用) <http://www.ipss.go.jp/nfs14/>